

広島大学大学院教育学研究科

共同研究プロジェクト 報告書

(第13巻)

平成27年3月

広島大学大学院教育学研究科

巻 頭 言

本報告書は、部局長裁量経費による平成 26 年度共同研究プロジェクトの成果報告書である。

13 巻目となる本報告書は、平成 14 年度の『リサーチ・オフィス共同研究プロジェクト報告書』第 1 巻に始まる。広島大学では平成 12 年度に教育学研究科と学校教育学研究科が統合・再編された。これを機に、リサーチ・オフィスを立ち上げて、研究科として取り組むべき研究課題を指定し、共同研究として関連研究の推進・支援を図った。具体的には、研究科に所属する教官が研究組織を組んで応募する場合と、オフィスが依頼する場合があり、必要度と重要性に応じて研究費が与えられた。

二年後には大学が法人化され、中期目標が設定された。共同研究プロジェクト制度はそれらを達成するための一つの策として有効に活用され、研究推進に大きく貢献している。また、教育をめぐる様々な状況が変化するに即応して研究課題を指定し対応してきたことも、本制度の重要な意義である。さらに、当初より、異なる講座に所属する教員が共同研究を行うことによって組織構成員のつながりがいっそう強固なものとなっていることも副次的な効果として挙げておきたい。

本年度は次の通り実施された。

1. 研究課題の公募と研究カテゴリー

年度初めに共同研究プロジェクトとして進められる研究課題が公募された。特に「平成 26 年度 教育学部・教育学研究科 中期目標・中期計画」「2 研究に関する目標」に基づき、次の研究を優先することが明示された。

- (1) 科学研究費助成事業の大型種目等、大型の外部研究資金の獲得を目指した研究
- (2) 異分野の融合による独創的な研究
- (3) 教科、学校種を超えた教育の創出につながる研究
- (4) 教育学研究科の新しい取り組みとして内外に提案できる研究
- (5) その他、教育学研究科にふさわしい研究

2. 採択された研究課題

上記の応募に基づき、次の 14 件の研究課題が採択された。

課題番号	研究代表者	研究課題名	カテゴリー
1	池野 範男	学習システム促進プロジェクト (1 年次/3 年計画)	(1)
2	棚橋 健治	教科教育学再構築プロジェクト	(1)
3	磯崎 哲夫	子どもの学びを解明し教師の授業力を育成する新しい教科教育学研究方法の開発	(4)
4	草原 和博	カリキュラム R&D センター構想の可能性と課題(3)	(4)
5	丸山 恭司	STEM 教育の展開可能性に関する研究	(1)
6	岡 直樹	子どもの学び支援プロジェクトの教育的効果	(1)
7	湯澤 正通	ウェブを通じたワーキングメモリアセスメントと学習支援システムの構築	(4)
8	三村 真弓	各教科(校種別)の授業研究を通じた教職・教科教育・教科内容の連携・教員協働の在り方に関する研究(3)	(3)

9	米沢 崇	「初任者の授業力向上のための実践ハンドブック」の開発	(4)
10	朝倉 淳	グローバル教員に求められる資質に関する研究 ー海外での授業実践による自己変容を中心にー	(4)
11	柴 一実	ESD・ユネスコスクールの普及・推進に資する教育学研究科における取組 及び評価に関する研究	(4)
12	田中 宏幸	教職開発専攻(教職大学院)と教科教育科学専攻との複合プログラム構築 に関する研究	(4)
13	松浦 伸和	グローバル教員養成に関する国際調査	(4)
14	桑山 尚司	国際協力版「授業研究入門マニュアル」の開発(2)	(4)

※研究課題名は採択時のものである

3. 研究の実施と報告

14件の研究課題のうち、課題番号2, 3, 4は、研究科長と各研究代表者との調整により、一本の研究課題に統合された(研究代表者: 棚橋健治; 研究課題: 現代社会の課題に応える教科教育プログラムの開発研究ーCurriculum Research & Development Centerの取組の試行としてー)。それぞれの研究課題は約1年をかけて遂行された。その成果の概要をまとめたものが本報告書である。なかには詳細な報告書を独自に作成した研究プロジェクトもある。なお、本年度から冊子体での配付を取り止め、広島大学機関リポジトリに登録して広く公開し、自由にダウンロードしていただけるようにした。

ここに示された研究成果が新しい研究を拓き、また、社会の要請に応えるものであることを期待したい。最後に、本報告書の作成にあたっては、専門部会の先生方と支援室のみなさんに大変お世話になった。感謝したい。

平成27年3月

広島大学大学院教育学研究科
研究・評価部会長
丸山 恭 司

目 次

1. 学習システム促進プロジェクト（第1年次報告）
－専門科学者との共同研究プロジェクト－
.....池野 範男・他（ 1）
2. 現代社会の課題に応える教科教育プログラムの開発研究
－Curriculum Research & Development Center の取組の試行として－
.....棚橋 健治・他（ 9）
3. STEM 教育の展開可能性に関する研究
.....丸山 恭司・他（ 23）
4. 子どもの学び支援プロジェクトの教育的効果
.....岡 直樹・他（ 31）
5. 子どもの学び支援プロジェクト：ウェブを通じたワーキングメモリ
アセスメントと学習支援システムの構築
.....湯澤 正通・他（ 37）
6. 各教科（校種別）の授業研究を通じた教職・教科教育・教科内容の
連携・教員協働のあり方に関する研究（3）
－「教職実践演習」における取り組みを通して－
.....三村 真弓・他（ 45）
7. 「初任者の授業力向上のための実践ハンドブック」の開発
.....米沢 崇・他（ 65）
8. グローバル教員に求められる資質に関する研究
－海外での授業実践による自己変容を中心に－
.....朝倉 淳・他（ 71）
9. ESD・ユネスコスクールの普及・推進に資する教育学研究科に
おける取り組み及び評価に関する研究
.....柴 一実・他（ 77）
10. 広島大学における〈教職高度化〉の在り方に関する研究
－教職高度化プログラムから教職大学院へ－
.....田中 宏幸・他（ 87）
11. グローバル教員養成に関する国際調査
－トルコのビルケント大学を事例として－
.....松浦 伸和・他（103）
12. 国際協力版「授業研究入門マニュアル」の開発（2）
.....桑山 尚司・他（113）

発行者：広島大学大学院教育学研究科
(〒739-8524)

東広島市鏡山1丁目1-1

発行日：平成27年3月27日

印刷所：広島市西区商工センター7-5-33
株式会社 ニシキプリント

電話 (082) 277-6954

